

須恵ジュニアバレーボール大健闘

6月23日(日)、第33回全日本バレーボール小学生大会が北九州芦屋総合体育館で行われ、この大会に須恵ジュニアバレーボールチームが出場しました。ベスト8を賭けた試合で惜しくも敗れましたが、監督や選手たちは、チーム一丸となり全力を尽くしました。同チームのメンバーは「暑い日も寒い日も練習を続け、とても良いチームに成長しました。諦めずに一生懸命がんばれば、必ず努力は実るということを学びました。これからも監督、コーチ、お父さんやお母さんたちへの感謝の気持ちを忘れずに、大好きな仲間たちと大好きなバレーボールをがんばります。」と力強く話されていました。



大好きな仲間たちとがんばります!

見事な発表で観客を魅了!

7月7日(日)、平成25年度須恵町文化協会前期芸能発表会(須恵町文化協会主催)がアザレアホール須恵で行われ、和太鼓、弦楽、和・洋舞踊、歌謡などの全29サークル(総勢230人)が出演し、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮しました。これは、町の文化発展に寄与するため活動する同協会が、会員相互の連携強化と、より一層の技術向上などを目的に行なっているものです。観客たちは、艶やかな舞に目を奪われたり、美しい歌声に聞き入ったりするなど、各サークルの見事な発表をした演者に対し、大きな拍手を送っていました。



見事な演技に見入ってしまいます

右見て、左見て

7月19日(金)、いきいき安全・自転車教室(いきいきコミュニティ主催)が第二小学校体育館で開催され、第二小学校4・5年生約40人が参加しました。自転車の運転をすると、行動範囲が広がり、事故との危険とも隣り合わせとなります。もし、事故を起こすと、自身や通行人などが重大なけがをしたり、命を落としたりする結果にもなりかねません。この講習会は、子どもたちが安全な運転を心がけるよう、正しい知識と技術を身に付けることを目的として行われました。交通安全指導員などの指導のもと、信号のある交差点や踏切などでの安全な通行の仕方などを実践して学びました。



安全な運転を心がけましょう

一進一退の攻防の結末は

6月23日(日)、第31回町民バレーボール大会(須恵町体育協会主催)が須恵中学校と第三小学校の各体育館で行われました。大会には各分館から20チーム(382人)が参加し、一進一退の手に汗握る見応え十分の熱戦が繰り広げられました。選手の力強いプレーに観客は大きな声援を送り、会場は熱気に包まれていました。大会結果は次のとおりです(各会場3位まで、○は順位)。
●須恵中学校体育館 ①上須恵②須恵③一番田③佐谷
●第三小学校体育館 ①南米里②乙植木③昭穂③旅石



相手コートへ力強いスパイク

より深まった卓球の魅力

7月7日(日)、第33回町民卓球大会(須恵町体育協会主催)が町立卓球場で行われました。この大会は、卓球の楽しさをより深く、より多くの人に楽しんでもらうことを目的としています。子どもから高齢者あるいは初心者から上級者まで実力に応じた部門に分かれ、対戦を通して交流しました。会場は熱気にあふれ、楽しく活気ある大会となりました。大会結果は次のとおりです。(各部門上位2位まで、○は順位、敬称略)
●A・B級ダブルス①熊本恵美・百田和矢②澤岨尚幸・大西典子●C級ダブルス①森照治・高宮奉子②稲光勝義・谷口巖●初級シングルス①益永楓哉②中山柊哉



激しいラリーの応酬

貴重な田植え体験

6月24日(月)、第二小学校5年生児童が田植え体験をしました。慣れない足取りで田に入り、今泉剛さんの指導のもと、ロープを目印に等間隔に苗を植え付けました。今回植えた苗は、秋に収穫され、ぺったんフェアに使用されます。また、7月5日(金)、第一小学校5年生児童、南幼稚園およびわかすぎの杜保育園園児が田植え体験をしました。まずは、長澤基之さん指導のもと、5年生自身が田植え体験。その後、園児とペアになり、やさしく田植えの仕方を教えていました。どちらの体験も、泥まみれになりながら田んぼで遊んだり、生物を見つけたり、とても賑やかな田植え体験となりました。



秋の収穫が楽しみです